

平成25年度施策評価シート(平成24年度実施事業)

作成主管課	商工観光課
	企画政策課
関係課	

施策名	観光	施策コード	2-1-1
-----	----	-------	-------

総合計画後期基本計画の内容

政策体系	政策	第2章 多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり〔産業〕
	小政策	1 笠間を体感できる観光・産業を振興します
現況と課題	<p>本市は、笠間稲荷神社、笠間日動美術館や茨城県陶芸美術館、笠間焼などの歴史的資源・芸術・伝統文化をはじめ、自然環境を背景とした多くの観光資源に恵まれています。また、観光は、産業振興をはじめ、市民活動や高齢者の活躍の場となり得るなど、地域活性化の観点からも重要な要素となっています。これらの観光資源を生かした通年滞在型の観光振興を図るため、平成20年3月に「笠間市観光振興基本計画」を策定し、各種の事業を展開してきました。また、観光協会による旅行商品の販売やグリーンツーリズムを取り入れた農業体験、情報発信としての笠間ファン倶楽部の充実など各種施策の展開や「恋人の聖地」といった新たな視点での取り組みも始められています。</p> <p>しかしながら、本市の平成22年における入り込み観光客数のうち、つつじまつり、陶炎祭、菊まつり、匠のまつり等、春・秋のイベントや初詣における観光客が全体の77%を占めており、依然として通年型観光地への発展が遂げられていない状況となっています。</p> <p>今後は、地域魅力の向上、体験型プランや食の充実、情報発信力の強化、広域観光の推進などに取り組みながら、来訪者が何度でも訪れたい、少しでも長く滞在したくなる魅力づくりを進める必要があります。また、観光都市として、災害発生時における適切な避難誘導など、滞在者に対する安心・安全対策にも努めていく必要があります。</p>	
施策目標	人材を含めた豊富な地域資源を観光資産として総合的に活用し、本市の魅力の効果的な発信に努め、観光都市としての魅力向上による通年型観光地を目指すとともに、地域経済の活性化を図ります。	

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	市民実感度調査においては、観光都市としての魅力の向上については市民の8割強の方が重要と感じているが、魅力が向上していると感じている市民は、5割ほどで昨年度より若干下がっている状況である。観光客動態調査の笠間稲荷神社でのアンケート結果においては、駐車場等の案内板の不足についての意見があった。
-------------	---

(1) 目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
観光都市としての魅力が向上していると感じている市民の割合	市民実感度	57.630	54.030				
	加重平均値	2.640	2.608				
当施策を重要と感じている市民の割合	市民実感度						
	加重平均値						
	重要度		87.780				
	加重平均値		3.504				

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
入り込み観光客数	目標値	千人		3,290	3,295	3,295	3,295	3,295
	実績値	千人	3,147	3,473				
	達成度	%		105.56				
	ベンチマーク							
観光情報HP(市、観光協会)アクセス数	目標値	件		206,000	240,000	240,000	240,000	240,000
	実績値	件	191,869	220,516				
	達成度	%		107.05				
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							

数値指標の考え方	指標設定の考え方	茨城県で集計した全国基準である観光客動態調査の入込観光客数を指標に設定し、平成18年度から平成23年度の入込観光客数の平均人数に茨城空港の開港、北関東自動車道の全線開通、東日本大震災後の復興などを考慮した入込観光客数を把握する。観光情報を発信する市及び観光協会のHPのアクセス数で把握する。
	目標値設定の考え方	イベントなどは天候に左右され入込観光客数が大きく増減するが、通年型観光地を目指し安定した入込観光客数の確保に向けた目標値を設定する。HPのツイッターやフェイスブックなどでの観光情報の発信によるアクセス数の増加に目標値を設定する。

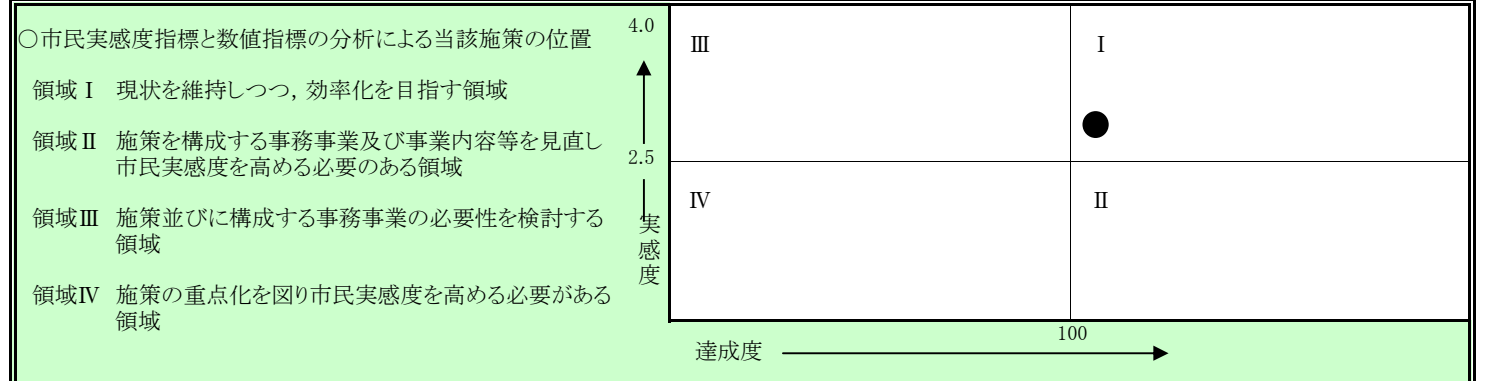
2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。 市民は、地域の自然、歴史文化、伝統行事の保全継承に努めるとともに、観光関連事業者、観光関連団体、行政と協力・連携を図りながら、愛着と誇りを持って主体的に地域づくりに参加する。(笠間市観光振興基本計画)
行政の役割	市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。 市民、観光関連事業者、観光関連団体との協働のもと、行政各部局の連携を十分に図りながら、観光振興施策を展開するとともに、市民、観光関連事業者、観光関連団体等の独自の取り組みを支援する。(笠間市観光振興基本計画)

3 平成24年度の取組状況

取組状況等	<p>取り組み内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設等の整備に関しては、社会資本整備総合交付金を活用し財源の確保が図れた。 春、秋のイベント開催のため、関係機関や新聞社・テレビ局・ラジオ局等のメディアを表敬訪問したり、年間を通してキャンペーンを行ったことにより、観光客の集客が図れた。 <p>表敬訪問日数 春:4日 秋:4日 キャンペーン日数 60日</p>
-------	--

4 施策の評価(現状分析)



達成度評価	<p>指標を分析した結果施策目標は達成されたのか</p> <ul style="list-style-type: none"> 入込観光客数は、年間を通した観光PRやキャンペーンなどにより目標値を達成したが、更なる通年型観光地を目指し誘客するための観光戦略が必要である。 ホームページについても、近年の情報化社会に対応するため、更なる観光情報の発信を図る必要である。
-------	---

構成事務事業の適正性	<p>施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策目標を達成するための構成事務事業は適正である。
------------	--

残された課題	<p>平成25年度以降に残る課題、その要因として考えられること。</p> <ul style="list-style-type: none"> イベント依存型でなく、通年型観光地を目指し地域経済の発展を図る。 観光PRや観光キャンペーンの実施を強化することにより、更なる観光客の誘客を図る。 魅力ある観光地を目指し、地域住民や観光関連団体との連携強化や情報の共有化を図る。 観光施設等を整備し、市民や観光客に対して癒しと快適に利用できるように利便性の向上を図る。
--------	---

5 今後の方向性

取組方針	<p>平成26年度に向けた施策方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 通年型観光地へ発展するため、観光PRなどの強化及び観光キャンペーンにおける観光協会との役割分担の検討を行う。 通年を通した魅力ある観光地を目指し、地域資源を活かして観光客の誘客や地域経済の発展のため観光協会や観光関連団体との連携の強化及び支援を実施する。 社会資本総合整備交付金など補助金を活用することにより、財源の確保を図り観光施設等の整備を実施する。
------	---

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果				補助区分	事業費(千円)			貢献度評価		
			成果指標	単位	平成22年度	平成23年度		平成24年度	平成22年度	平成23年度		平成24年度	
1	筑波山地域ジオパーク整備事業	周辺の観光資源と融合させたジオツーリズムを新たな観光スタイルとして創出するため、つくば市、石岡市、桜川市と笠間市において筑波山周辺地域ジオパークを整備する。	政策的事業	関係機関協議 ジオツアーコース設定 ジオツアー参加者	回 人 人	—	—	11 — —	市単	—	—	825	7
2	笠間ファン倶楽部推進事業	交流人口の拡充、産業振興や地域の活性化を図るため、自然・歴史・芸術・食など笠間の魅力を感じる方などを「笠間ファン倶楽部会員」とし、体験事業や交流事業等により会員と市民の交流を行う。	政策的事業	ファン倶楽部会員数 観光客数	人	1,541 3,281,300	1,692 3,146,500	1,617 3,472,800	市単	1,500	1,578	1,171	5
3	工芸の丘管理事業	地場産業の振興、体験型施設、観光情報発信機能として整備された施設の魅力を更に高めるため、周辺施設(陶芸美術館、あそぼの杜、イベント広場、陶の小径等)との回遊性を高める。	維持管理事業	工芸の丘販売額	円	223,182,000	200,000,000	230,000,000	市単	17,064	9,914	11,134	1
4	観光施設管理事業	訪問者が快適に利用できるように公園等の維持管理を行う。	維持管理事業	維持管理費用	円	10,041,000	10,976,000	13,042,000	市単	8,743	9,851	11,021	9
5	菊栽培所管理事業	菊まつりに展示する各種の菊を計画的に栽培する。菊栽培技術の広がりを図るために、市民の希望者を募り菊栽培講習会を定期的に行ない、市民菊花展に参加してもらう。	維持管理事業	菊まつり入込客数 市民菊花展参加者数	人	775,000 21	770,000 21	793,000 21	市単	3,961	4,010	9,621	11
6	駐車場管理事業	自家用車等で訪問する市民及び観光客のために駐車場の維持管理を行う。	維持管理事業	年末年始駐車台数	台	5,540	5,880	5,824	市単	7,498	7,819	7,498	9
7	観光協会の強化促進事業	観光事業の振興と地域の健全な発展を図り、市に観光客を誘致し地域経済の発展に資するため、観光協会の育成強化を推進する。	政策的事業	事業収益 協会会員数	円 人	1,495,433 423	1,600,000 410	2,000,000 399	市単	25,000	24,250	24,250	9
8	観光動態調査事業	笠間市内の数箇所の観光拠点において、観光客数と年齢・人数・出発地などを調査することにより、観光客の動向を判断するための資料を取得する。	義務的事業	入込観光客数	人	3,281,300	3,146,500	3,472,800	県補助	—	—	—	義務的事業
9	かさま観光大使雇用事業	笠間市の観光イベントや県内外の観光キャンペーンに参加することによりPRの推進を図る。	政策的事業	出勤日数	日	127	129	135	市単	869	901	978	8
10	フィルムコミッション事業	笠間市の豊かな自然、歴史的建造物、公共施設等を市ホームページや茨城県フィルムコミッション推進室との連携を図りながら紹介し、魅力を発信することにより、テレビ・映画等での使用を推進し、笠間市のPRを図る。	政策的事業	FC関係経済効果	円	5,695,694	25,863,785	10,000,000	市単	47	64	64	12
11	観光PR戦略事業	笠間の知名度アップと新規観光客の拡大を目的に、通年滞在型の観光振興を図るため、観光関連団体との連携のもと旅行会社やメディア等に介して観光PRを行う。	政策的事業	入込観光客数	人	3,281,300	3,146,500	3,472,800	市単	2,745	3,080	2,468	3
12	観光周遊バス運行協議会事業	観光客の周遊観光の促進のために平成13年に無料で開始され、平成20年に新型バスが導入されたのを機に有料化で運行されている。	政策的事業	利用者数 観光客動態調査による 利用率	人 %	23,220 16	20,443 37	24,000 45	市単	2,460	2,400	2,400	7
13	観光案内所運営委託事業	JR笠間駅前観光案内所を設置し、観光客の利用向上を図るために観光案内・刊行パンフレットの配布・周辺の清掃等を行う。観光協会に運営を委託する。	政策的事業	利用者数 外国人利用者数	人	24,131 71	25,154 26	24,195 50	市単	2,835	2,835	2,835	9
14	広域観光推進事業	豊かで親しみやすい自然や伝統ある歴史・文化遺産などの多様な観光資源を紹介宣伝し、観光客の誘致を図るとともに、旅行商品の企画・造成を促進しながら、観光振興を図る。	政策的事業	入込観光客数	人	3,281,300	3,146,500	3,472,800	市単	2,258	2,180	2,180	3
15	笠間のまつり事業	市民自らの手で創りあげ、誰でも参加できる市民参加型の祭りとして、平成3年から灯籠流しと光のオブジェ(ねぶた&神輿)のパレードが開催されている。	政策的事業	入込観光客数 参加団体数(パレードのみ)	人 団体	39,000 37	39,000 35	39,000 35	市単	7,290	7,290	7,290	8
16	菊まつり事業	市民参加型で永続的な菊まつりとして開催するため、笠間の菊まつり連絡協議会が主体となって関係機関との連携によりテレビ・新聞社・旅行会社等へのキャンペーンを行い、菊まつりを行う。	政策的事業	入込客数	人	775,000	770,000	793,000	市単	8,515	6,939	9,411	1
17	つつじまつり事業	春を代表するイベントとして、安らぎと癒しを与えるまつりとして実施し、観光客の誘客を図る。	政策的事業	入込客数 入園料	人 円	58,733 12,544,440	60,596 13,346,860	48,132 9,256,940	市単	6,424	6,327	6,351	1
18	恋人の聖地(陶芸の里かさま)事業	市の知名度向上、結婚支援付加価値化、市内の観光施設及び商業施設の回遊性による交流人口の増加等を図るため、県内で唯一選定された恋人の聖地「陶芸の里かさま」に関するPR等を行う。	政策的事業	サポートショップ数	店	9	9	9	市単	991	515	230	10
事業費合計									98,546	90,147	111,976		

シート1 施策構成事務事業目的直結度評価

施策名 観光



法定受託事務(義務的事業に分類)
観光動態調査事業

シート2施策構成事務事業貢献度評価

施策名 観光

